

AddRuby Ver.1.08 について

1. 主な改良点

1. 従来の AddRuby に、ルビ振り機能だけでなく、「分かち書きヘルプ機能」を追加しました。
(使い方は下記参照。)

2. 定評があり、広く使われている形態素解析エンジン MECAB を組みこむことにより、ルビ振り
と分かち書きの精度が向上しています。MECAB については、次のサイトをご参照下さい。

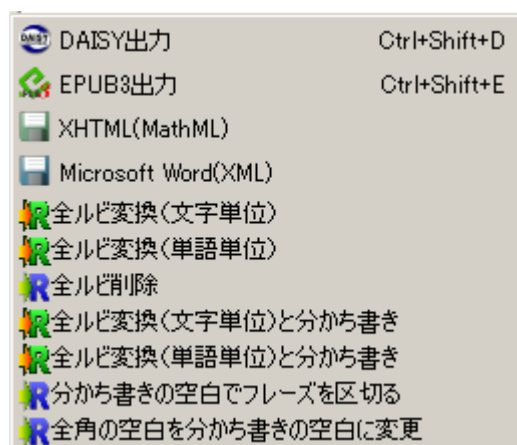
<http://taku910.github.io/mecab/>

3. ChattyInfty でのルビ挿入ダイアログの精度と軽快さが向上します。

2. 分かち書き機能の使い方

AddRuby には AITalk 版用(AddRuby108_AITalk.zip)と SAPI5 版用(AddRuby108_SAPI5.zip)が
ありますので、ご注意下さい。使い方は、共通です。

ChattyInfty3 (AITalk 版、SAPI5 版) がインストールされているパソコンに、AddRuby Ver. 1.08 をイ
ンストールすると、ChattyInfty の Export に、従来の3項目の下に、次の4項目が追加されます。
(下図は AITalk 版の場合のポップアップです。)



それぞれの機能については、以下の通りです。ここで、「分かち書きの空白」というのは、
ChattyInfty で CTRL+0 で入力される、赤い斜線の空白(無音の空白)です。

・「全ルビ変換(文字単位)と分かち書き」

これは、従来の「全ルビ変換(文字単位)」に、単文節区切りの分かち書き機能を追加したもので
す。連文節での分かち書きは、明白な判断基準が難しいため、すべて、単文節区切りにしていま
す。

・「全ルビ変換(単語単位)と分かち書き」

これは、従来の「全ルビ変換(単語単位)」に、単文節区切りの分かち書き機能を追加したものです。

・「分かち書きの空白でフレーズを切る」

上のどちらかの機能で、分かち書きを入れても、読みのハイライト区切り(フレーズ)は、ChattyInfty の音声設定に従って、区点区切りや、句読点区切りになります。そのため、ヨミの滑らかさは、分かち書きを入れても損なわれることはありません。他方、分かち書きの区切りで、1語ずつ区切って読んで欲しいという児童・生徒は少なくないようです。そのため、全ての分かち書きの空白にハイライト区切り(フレーズ分割)記号(ChattyInfty の編集画面で CTRL+SHIFT+/で入力される縦線の区切り記号)を挿入する機能を追加しました。

・「全角の空白を分かち書きの空白に変更」

小学校の1～2年生の教科書では、始めから単文節区切りで、全角の空白が挿入されています。このままだと、読み上げがぶつ切れになるため、これらの全角空白を一括で「分かち書きの空白」に変換する機能です。(文頭の空白はそのままになります。) 連文節でフレーズを切った読み上げを実現するためには、この機能で一旦全角空白を分かち書きの空白にしてから、読みを切りたいところで、フレーズ分割(CTRL+SHIFT+/)をすると、いいと思います。

・「分かち書きの空白」についての補足

この空白は、DAISY に変換した際に、通常の DAISY プレイヤーでは、画面上では空白が挿入されますが、読み上げには影響しないため、読みの滑らかさを失わずに、分かち書きを入れることが出来ます。

また、ChattyBooks や ChattyBookExpress では、ツールバーの [W] ボタンで、「分かち書きの空白」を ON/OFF できますので、単語の区切りを見つけることに困難がある子ども達は、「分かち書きの空白」を ON にして練習してから、OFF にして、区切りを見つける練習をすることが出来ます。

お願い：何か不具合や、改善要望などがありましたら、メールにて下記までご連絡下さい。

どうぞ宜しくお願いします。

サイエンス・アクセシビリティ・ネット

鈴木昌和

E-mail: msuzuki@kyudai.jp

2017.7.1